

公開講座「コンピュータはなぜ動くのか」を開催

7月3日（土）と10日（土）に、情報システム学科の西澤弘毅講師による公開講座「コンピュータはなぜ動くのか～電気を使わない擬似コンピュータ体験～」を開催しました。3日は鳥取県立図書館で、10日は米子市の今井書店「本の学校」（10日）で行い、合わせて59名の皆様に受講していただきました。

今回の講座は、「コンピュータはなぜ動くのか?」「コンピュータは自分の処理を理解しているのか?」といった素朴な疑問に対して皆で考えることを目的としました。そこで、受講者の皆さんには、壇上で分担して絵を描いてもらったり、画用紙の並び替えに参加してもらったりして、コンピュータの疑似体験をしていただきました。

✚ 体験内容

- ・ 1枚の画用紙に対して、順番に7人の参加者に、与えられた命令に従って絵を追加してもらいます。最終的にどんな絵が出来上がるか、参加者は理解できたでしょうか?
- ・ 単純な規則の繰り返しで複雑な絵が描けるのはなぜでしょうか?
自己相似図形（フラクタル）を描いてみよう。
- ・ 並び替えの方法には、どんな方法（アルゴリズム）があるでしょうか?
トランプを並び替えるには? 廊下で背の順に並ぶには?
日本国民全員の生年月日順リストを作るには?



受講者の方からは、「疑似体験によって、コンピュータの仕組みが良く理解できました」という感想をいただきました。

次回の公開講座は、本学科の鷲見育亮教授による「のりとはさみを使ってのプログラミング講座」です。9月4日（土）に鳥取県立図書館で、9月18日（土）に米子市の今井書店「本の学校」で開催いたします。年齢を問わず誰でも参加できますので、どうぞ奮ってご参加ください。お申込み方法は、鳥取環境大学 企画広報課（電話：(0857)38-6704）までお問合せください。